

「東大阪市住工共生まちづくり条例に関する検討のためのアンケート調査」について

1. 実施主体

東大阪市（経済部モノづくり支援室）が委託により調査を実施。

2. スケジュール

- 6月中旬 委託業者決定
- 6月下旬～7月下旬 アンケート調査の項目設計
- 7月下旬～8月中旬 アンケート調査の実施
- 8月下旬～9月下旬 アンケート集計、まとめ

3. アンケート対象

本市域の中で主に住宅と工場が混在している地域（都市計画法における用途地域が工業系の地域及び住居系の地域）に立地する製造業事業者、市民を対象。

4. アンケートの条件

アンケート調査票については、製造業事業者向け、市民向けの2種類を作成することとし、製造業事業者及び市民の合計1,000（製造業事業者及び市民の割合は未定）を最低限の調査対象母数とする。

5. アンケート調査項目（案）

（1）事業者対象

基本情報（業種、現在地での操業開始年、従業員数、経営者年齢、操業時間（現在・過去）、土地・建物の所有形態、後継者の有無）

事業所の周辺状況

- ・事業所の用途地域 工業地域・準工業・住居系地域・その他地域・知らない
- ・事業所の周辺状況 近隣に事業所併設ではない住宅がある・ない
- ・近隣に住宅がある場合、立地年の後先 工場が先・住宅が先
- ・操業開始当時から現在の変化 周辺に住宅が立地・工場が立地・その他・変化なし
- ・操業環境に問題があるか ある・ない
- ・操業環境について 悪化している・今後悪化する・わからない
- ・悪化している又は悪化すると思った要因 周辺住民からの苦情・近隣工場の振動など・交通渋滞・工場拡張が難しい・既存不適格で工場の建替えができない・周辺が宅地かされないか不安で新たな投資を躊躇してしまう
- ・周辺住民からの苦情の内容 騒音・振動・臭い・その他(内容を自由記述)
- ・操業環境が悪化したことによる具体的な影響や対応状況 設備投資の遅れ(工場建設以外)・工場増設(新設)が困難・操業時間の変更・防音対策等の相隣環境対策・一部工程の移転や外注化・その他
- ・周辺住民との関係 良好・普通・良くない
- ・不動産開発業者からの土地売却の要請等による接触 ある・ない

今後の貴社の方針、まちのあるべき姿への考え

- ・本市がモノづくりのまちとして特徴のあることに誇りを持って事業活動をしているか はい・いいえ
- ・今後もモノづくりのまちとして認知されていくとしたらどのように感じるか 誇りに思う・モノづくり企業が安心して操業できる条件を整えてほしい・市民の共通認識に高めていく活動が必要・他の業種に転換がしづらくなる、別の方向性を打ち出すべき
- ・今後の事業所に関する方針 本市で続けていく・本市に事業所を残して他市へ拡張する・全面的に他市へ移転する・本市に事業所を残して海外自社生産を実施する・全面的に海外へ移転する・今後操業環境が悪化しても相隣対策を実施し続ける・今後操業環境が悪化すれば移転する
- ・本市が工場の操業環境と住環境を備えたまちであるために、どのような方向が必要と考えますか 住宅と工場のエリア分離・現状の立地状況のままお互い安心して暮らしていける対策(防音壁、2重サッシ等)を講じていく・全市的なルール(工業地域の住宅の立地規制等)を決めてこれ以上の混在を防止する・対話やコミュニケーションによる相互理解の促進を深めてトラブルをなくしていく・地域ごとに独自のルールを決める・先進地域のまちづくり組織による混在地域でのアドバイスの実施
- ・今後の操業環境保全について必要と思う対策(どのような条件が整えば今まで以上に操業しやすくな

るか) 工業系地域での新規住宅開発規制(抑制)・工業系地域における工場用地売却時に工場としての土地利用を継承した場合の優遇・住居系地域にある製造業事業所の工業系地域への移転促進のための優遇・工業系地域にある住宅の住居系地域への移転促進のための優遇・工業系地域での住宅立地に際しての事前協議・相隣環境上の摩擦防止に向けた設備投資に対する支援・既存不適格工場の建て替え規制緩和・集合工場建設など良好な操業環境の提供

(2) 市民対象

基本情報(家族構成、居住開始年、勤務先(勤務地) 家にいる時間帯)

- ・現住所地の用途地域 工業地域・準工業・住居系地域・その他・知らない
- ・用途地域について入居前に知っていたか

お住まいの周辺状況

- ・近隣に工場があるか ある・ない
- ・近隣に工場がある場合、立地年の後先 住宅が先・工場が先
- ・現住所地における周辺環境の満足度 現状で満足・不満
- ・不満である場合、その理由 工場があり騒音や振動や臭い等の問題あり・工場 が公道で作業をする・火災発生で延焼等の危険を感じる・どんな工場があるのかわからない・工場に出入りするトラックが駐車するなど交通事情が悪い・公園が少ない・住宅が増えない
- ・近隣の工場との関係 良好・普通・良くない
- ・工場とのトラブルがある ある・ない
- ・トラブルの具体的内容 騒音・振動・臭い・地域行事に非協力的

今後について、まちのあるべき姿への考え

- ・本市がモノづくりのまちとして広く認知されていることに誇りを持っているか いろんな製品づくりが行われており誇りを持てる・周辺に工場があるのは耐えられない・住宅の多い地域に移りたい・別のイメージを定着させてほしい
- ・今後もモノづくりのまちとして認知されていくとしたらどのように感じるか 誇りに思う・モノづくり企業が安心して操業でき住民も安心し快適に生活できる条件を整えてほしい・市民(市全体)の共通認識を高めていく活動が必要・別の方向性を打ち出すべき
- ・本市が住環境と工場の操業環境を備えたまちであるために、どのような方向が必要と考えますか 住宅と工場のエリア分離・現状の立地状況のままお互い安心して暮らしていける対策(防音壁、2重サッシ等)を講じていく・全市的なルール(工業地域の住宅の立地規制等)を決めてこれ以上の混在を防止する・対話やコミュニケーションによる相互理解の促進を深めてトラブルをなくしていく・地域ごとに独自のルールを決める・先進地域のまちづくり組織による混在地域でのアドバイスの実施
- ・住宅と工場とのトラブル解消に向け必要と思う方策 環境対策に対する支援強化・良好な操業環境の提供・工場で何をつくっているか理解促進を図る・地域児童に企業がモノづくり教育を行う・夜間防犯灯を増やす・隣接面に緑地や防音壁の設置を行う・一緒になって解決を図るための活動組織をつくる・地域が独自に解消ルールをつくる・行政が規制ルールをつくる・移転支援をする・住宅には住居地域並みの建築基準を適用する、
- ・東大阪から工場が無くなっていくことをどのように感じるか。 世界的に有名な企業のある産業集積エリアなのにもったいない・まちの特徴がなくなるので寂しい・活気がなくなる・雇用の場がなくなって困る・共存できるような対策をしてほしい、利便性が高いので住民中心のまちになればよい、
- ・地域で住宅と工場が共存できるまちづくり活動に参加してよりよいまちをつくりたいか はい・いいえ